

eARC でサウンド空間と融合、手軽に映像音響空間を構築 4K UHD の映像美・設置性・音響コネクティビティの 3 拍子が揃った Optoma レーザーDLP プロジェクター「UHZ50+」を新発売

株式会社オーエスプラス e（本社：大阪、代表：奥村正之）は、Optoma（オプトマ）レーザーDLP プロジェクター UHZ50+を 2024 年 6 月 28 日（金）より発売開始いたします。

UHZ50+は、4K UHD プロジェクター世界 No.1 シェア^{※1}を誇る Optoma が手掛ける 4K UHD 対応の標準焦点プロジェクターです。このプロジェクターは、ご家庭で映像と音響を組み合わせた至高のひと時を手軽に体験できるよう、様々な機能を備えています。

4K UHD を映す約 830 万画素の DLP チップを搭載し、HDR10 と HLG に対応したきめ細やかで、肉眼で見る景色に近い美しい映像を表現します。さらに、2,700,000:1 の高いコントラスト比と Optoma 独自のディテール感・立体感を高める Brilliant Contrast 機能によって、明るい純白、深い漆黒、そしてリアルな色彩を表現します。投写サイズは 34.1 インチから 302.4 インチをサポートし、ご家庭で映画館のような迫力ある映像体験を再現します。

UHZ50+には優れた映像美だけでなく、サウンドバー等の音響機器と簡単に繋がり、手軽にホームシアター環境を実現できる特長があります。音声データの伝送を行う「eARC」に対応しているため、Dolby Atmos や Dolby TrueHD をはじめとする高品位オーディオを HDMI ケーブルだけで伝送できます^{※2}。

Dolby TrueHD のような高品位オーディオを出力するには、光ケーブルを併用したり、AV レシーバーを別途用意したりする必要があります。eARC に対応している UHZ50+なら、プレーヤーから受けたデータをそのままサウンドバーに出力できます。eARC 対応の音響機器をお持ちであれば、HDMI ケーブルを用意するだけで、簡単にホームシアターシステム全体の音質を向上させることができます。

色再現性に優れた Optoma 独自のレーザー光源を採用することで筐体の放熱孔を最小限に抑え、IP6X の優れた防塵仕様を実現。筐体からの光漏れも最小限に抑制します。

コンパクト設計も特長の 1 つです。幅 33.7cm 奥行き 28.8cm、同程度スペックの国内プロジェクターと比較しても軽量（4.7kg）^{※2}であるため、リブレイスやマンションなど限られた広さの空間に設置する際にもおすすめです。この他にも 4 コーナー調整、水平・垂直キーストーン補正、レンズシフト、1.3 倍ズーム、3×3 ワープ補正機能など各種映像補正機能も備わっているため、どのような部屋でも簡単にホームシアターの感動を体験できます。

^{※1}PMA Research2018Q1-2019Q4

^{※2}当社調べ

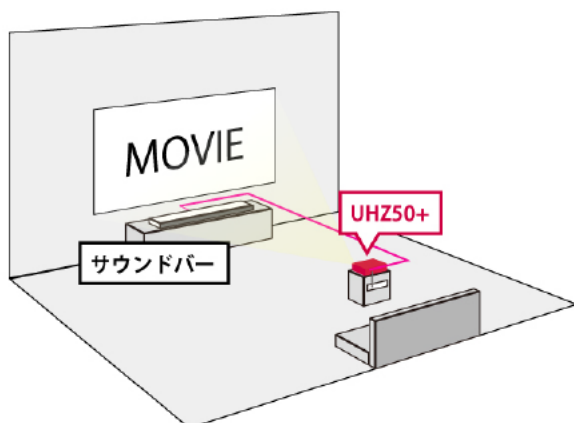
- 商品名 : レーザーDLP プロジェクター
- 型式 : UHZ50+
- 希望小売価格 : オープン
- 市場想定価格 : 540,000 円（税込 594,000 円）前後
- 受注開始日 : 2024 年 6 月 28 日（金）
- 出荷開始予定日 : 2024 年 7 月 30 日（火）
- 製品サイト : <https://www.optoma.jp/products/uhz50+/>
- E C サイト : https://www.hometheaterstore.jp/i/optoma_uhz50/

Optoma



サウンドバーと組み合わせた設置イメージ

— HDMIケーブル



設置イメージ

<UHZ50+の主な特長>

- 解像度 4K UHD (3840×2160)。
- 最小 34.1 インチ～最大 302.4 インチまでの幅広い投写画面サイズに対応。
- 明るさ 2,600 ルーメン (ANSI※2)。
- 2,700,000:1 のコントラスト比。
- 色再現性に優れた Optoma 独自のレーザー技術 Dura Core テクノロジー搭載。
- 幾何補正 (4 コーナージオメトリ補正) が可能。
- レンズシフト (垂直方向 100% ～ 110%)。
- 最大 30,000 時間 (エコモード時) の長寿命レーザー光源。
- 粉塵を内部に侵入させない IP6X の優れた防塵設計。筐体からの光漏れも最小限に抑制。
- 本体 4.7kg の軽量、コンパクトボディ。
- 電源供給されると自動的に起動するダイレクトパワーオン機能搭載。
- HDMI CEC 対応機器と連携が可能なシグナルパワーオン機能搭載。
- 付属の Wi-Fi ドングルでネットワークに接続。8GB の内部ストレージにデータの格納が可能。
- 10W×2 ステレオスピーカー内蔵。

※1 eARC 機能を使用するにはオーディオ側も eARC に対応している必要があります

※2 米国規格協会が定めたプロジェクターの光の明るさの尺度。9 点を測定し平均値を算出したものです。ANSI ルーメンは多くのメーカーで計測されている方法で、国際的な機関の定めによる標準化された明るさの値です。

ホームシネマの音響を簡単にアップグレード

機器構成



eARC 機能を使用した機器構成イメージ※1



黒の引き締まるデザイン



背面パネル

「製品に関するお問合せ先」

株式会社オーエス コンタクトセンター

東京都足立区綾瀬 3-25-18

TEL.0120-380-495 FAX.0120-380-496 E-mail info@os-worldwide.com

※接続できない場合には、次の番号をご利用ください。TEL.03-3629-5211 FAX.03-3629-5214

「本ニュースに関するお問合せ先・ニュース発信者」

株式会社オーエス 業務本部 事業推進部 マーケティング課 松浦 俊守

東京都足立区綾瀬 3-25-18

TEL 03-5697-0980 FAX 03-5697-0990 E-mail t.matsuura@os-worldwide.com

株式会社オーエスプラス e 会社概要

名 称：株式会社オーエスプラス e https://jp.os-worldwide.com/os_plus_e/

本 社：大阪市西成区南津守 6-5-53 オーエス大阪ビル

創 業：2000 年 10 月

代表者：代表取締役 奥村正之

事業内容：

1. 各種スクリーン及びプロジェクターの研究開発、製造、販売、輸出入、施工
2. 映像、音響、ソフトウェア、プログラミング制御等の装置に関するシステム機器及びその周辺機器の企画、設計、製造、販売、輸出入、施工
3. 電気機器、電子機器、通信機器、映像機器、音響機器、情報機器、コンピュータ機器、教育機器、太陽光発電機・蓄電機等の企画、設計、製造、販売、輸出入、施工
4. イベントプロデュース、コンテンツ制作、ネット配信事業
5. 映像ソフト、音楽ソフト等の録画物、録音物及びコンピュータソフトの企画、設計、制作、販売、輸出入
6. 古物の買取・販売
7. 地域特産品の製造、販売等及び地域活性化支援事業
8. 上記に関連するソフトウェアの企画、設計、制作、販売、輸出入
9. 上記に関連する保守・メンテナンスの業務
10. 上記に関連する機器及びソフトウェアのレンタル業務
11. 前各号に付帯関連する一切の事業

「関連企業」

株式会社オーエス	本社：大阪府大阪市	https://www.os-japan.com/
株式会社オーエスエム	本社：兵庫県泉粟市	https://www.os-m.jp
株式会社オーエスプラス e	本社：大阪府大阪市	https://jp.os-worldwide.com/os_plus_e/
株式会社オーエスビー北海道	本社：北海道札幌市	https://www.osb-hkd.jp
株式会社オーエスビー沖縄	本社：沖縄県中頭郡	https://www.osb-okn.jp
株式会社次世代商品開発研究所	本社：大阪府大阪市	https://www.njmc.jp
OSI CO., LTD.	：香港	https://hk.os-worldwide.com
奥愛ス商貿(北京)有限公司	：中華人民共和国	http://www.os-worldwide.com.cn

「日本総販売代理店」

Optoma(台湾)	／ 世界トップクラスの DLP プロジェクターメーカー
Vogel's (オランダ)	／ フラットディスプレイなどのスタイリッシュハンガーメーカー
SCREEN RESEARCH (イタリア)	／ THX、ISF 公認のサウンドスクリーン